

早期水稻情報 第2号

令和6年6月21日
JAむなかた
北筑前普及指導センター

5月以降は、気温は概ね平年並み～やや高く、降水量は平年並みで、日照時間はやや多く経過しています。

草丈・茎数は、ほぼ昨年並み～やや多く推移しており、6月下旬には幼穂形成期になると思われます。

1. 水管理

生育が順調なほ場では、すでに中干しを終え、間断かん水を行っているところです。今後、穂ばらみ期からは湛水状態にします。

☆生育調査結果(福津市津屋崎地区) 【田植え日：コシヒカリ4月25日、夢つくし4月26日】

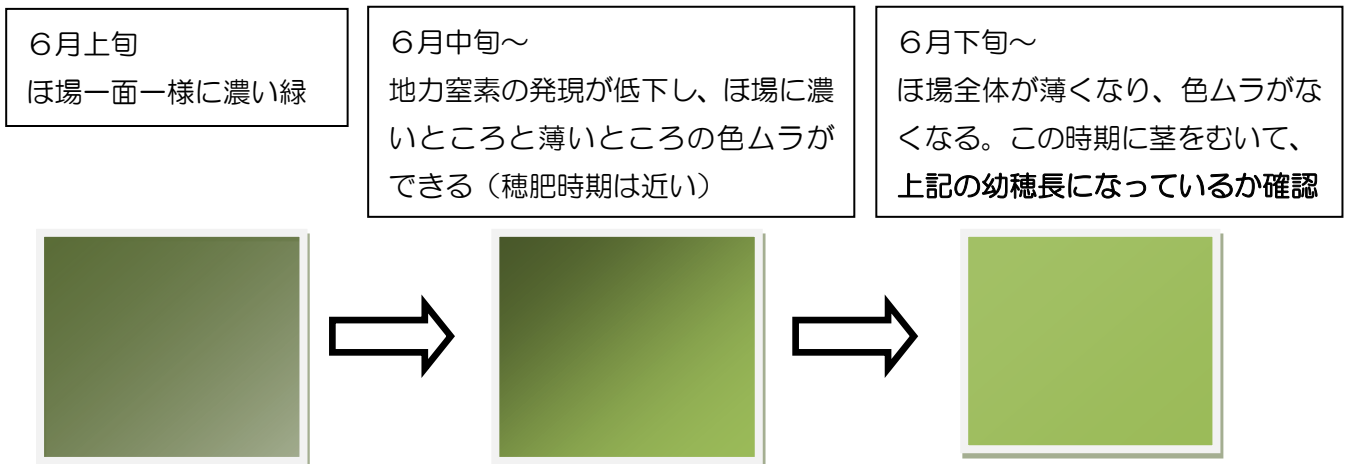
調査月日	5月28日		6月7日		6月20日			
調査項目	草丈 cm	茎数 本数/m ² (前年比)	草丈 cm	茎数 本数/m ² (前年比)	草丈 cm	茎数 本数/m ² (前年比)	葉色	幼穂 mm
コシヒカリ	24	125 (87%)	32	243 (90%)	59	348 (89%)	3.2	0.1
夢つくし	22	134 (65%)	27	241 (85%)	45	389 (117%)	3.8	0

※昨年の田植え日はコシヒカリ4月20日、夢つくし4月22日

2. 穂肥

穂肥は、籾数の確保を図るために欠かせません。施用時期が早すぎると、下位節間が伸長して倒伏しやすくなります。ほ場を見て状況に応じて施用してください。コシヒカリでは3～5mm程度、夢つくしでは2～3mm程度の幼穂を確認できたら穂肥を施用してください。

【穂肥の目安】

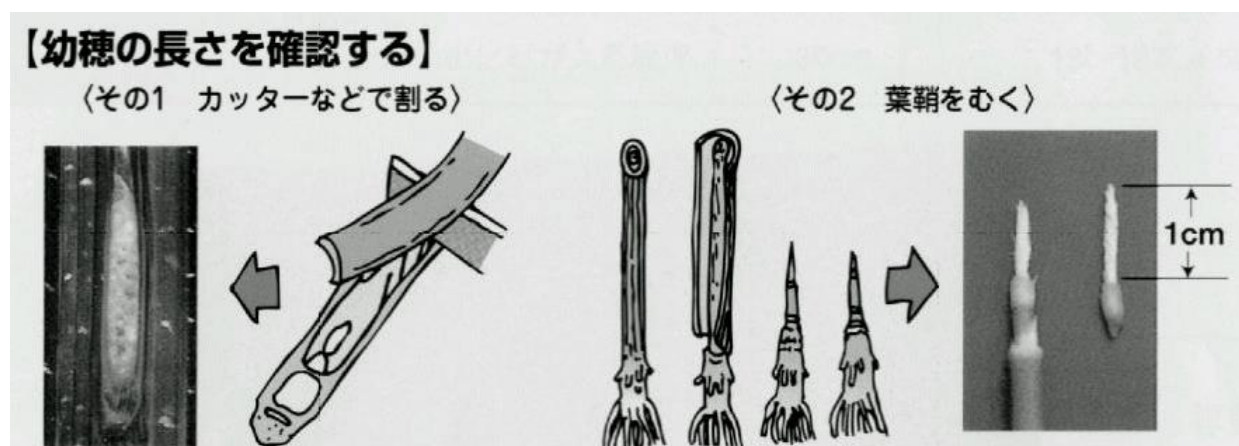


【穂肥時期と施用量（目安）】

品種	施用時期	肥料名	施用量 (kg/10a)
コシヒカリ	出穂18日前 (幼穂長3~5mm)	NK化成2号	10~15
夢つくし	出穂20日前 (幼穂長2~3mm)	NK化成2号	15

※葉色がやや濃い場合は、施用時期を数日遅らせ、施用量も控えめにしてください。

ほ場によって生育（幼穂長や葉色）が異なります。ほ場を確認してから施用時期、施用量を決めてください。



3. 病害虫防除

早い時期からスクミリンゴガイが発生し、一部のほ場で食害がみられます。ほかに、問題となっている病害虫の発生は認められていませんが、今後発生状況に注意し、必要に応じて補正防除を行って下さい。

【いもち病】

いもち病を見つけたら、直ちに下記の薬剤を散布してください。

病名	薬剤名	散布量 (10a 当たり)	使用時期
いもち病	コラトップ豆つぶ	250g	<ul style="list-style-type: none"> ・葉いもち 初発10日前~初発時 ・穂いもち 出穂30日前~5日前まで
	ノンプラスフロアブル	1000倍	発生初期 (収穫7日前まで)
	ビーム粉剤DL	3~4kg	発生初期 (収穫7日前まで)

農薬登録状況：令和6年6月10日時点